

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年 7月25日更新

事務事業名	老人ホーム入所措置事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部	課長名 米澤伸仁
	施策	16	高齢者の自立と社会参加の促進		所属課	高齢者支援課	担当者名 樋口良平
	施策の柱	50	高齢者支援体制の充実		所属班	包括支援センター班	(内線) 2143
予算科目	会計一般	款 3	項 1	目 4	事業連番 10497	根拠法令 老人福祉法合志市老人福祉法施行細則	成果優先度評価結果 : ④ コスト削減優先度評価結果 : ⑤
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	養護老人ホームの入所措置事業。老人福祉法施行時の昭和38年頃から。養護措置が必要な高齢者を老人ホーム等に入所の措置を行う。入所基準の身体上、精神上的の事情が削除になった。入所の相談件数が増加した。
【業務の流れ】	相談、申請、実態調査、地域ケア会議、決定、菊池圏域合同入所判定会議、入所決定、入所措置費決定、入所負担金決定、入所立会、入所者の実態調査、退所事務、退所立会、収入申告書による入所措置費変更事務、入所負担金納付書発行送付(毎月)、措置費支払事務(毎月)、振込み手数料支払。滞納繰越事務、決算事務、収納年次処理事務。
【主な予算費目】	報酬・旅費・役務費・負担金補助及び交付金・扶助費。
【意見や要望】	入所基準の身体上、精神上的の事情が削除になった。入所の相談件数が増加した。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動)(DO)	28年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
菊池圏域老人ホーム合同入所判定委員会、入所措置決定、入所、入所措置費支払い。3施設入所措置人数11名。やむを得ない措置として1施設1名	菊池圏域老人ホーム合同入所判定委員会、入所措置決定、入所、入所措置費支払い。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ イ 入所相談件数	人 前年度は番号制度対応老人施設入所システム改修業務があったが、改修が完了したため委託料の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
65歳以上の高齢者。	(単位) 人
→ イ	ア: 65歳以上の高齢者
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
低所得者及び身寄りのない高齢者の保護・措置し安心した生活を送る。	(単位) 人
→ イ	ア: 養護老人ホーム入所者数
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠	
意図が、低所得者及び身寄りのない高齢者の保護・措置し安心した生活を送るため、養護老人ホーム入所者数とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	25年度	26年度	27年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	人	3	0	4	0	4	4	4	4	
② 対象指標	人	12,036	12,988	12,200	13,474	12,500	12,800	13,100	13,400	
③ 成果指標	人	11	11	17	11	18	19	20	21	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円		99	302				
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円	3,559	3,492	4,211	3,681	3,864	4,807	
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	24,534	23,150	25,307	22,839	25,433	26,943	
		(A) 事業費計	千円	28,093	26,741	29,518	26,822	29,297	31,750	0
		(A)のうち指定経費	千円	28,089	26,581	28,283	25,881	28,283	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	0	5	3	5	5	0
人件費	延べ業務時間	時間	160	0	518	400	518	518	0	
	(B)人件費計	千円	637	0	2,063	1,485	2,063	2,063	0	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	28,730	26,741	31,581	28,307	31,360	33,813	0	

事務事業名	老人ホーム入所措置事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	-------------	-----	-------	-----	--------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 家庭環境、経済状況が困難なケース相談が増えており、それに伴う入所件数も目標達成することが見込まれる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 養護が必要な高齢者を積極的に措置する。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 老人福祉法の規定によるものであり、他の法の適用はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 入所措置が必要な高齢者を措置する費用であり削減できない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 入所相談が増加しており削減できない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 養護を必要とする高齢者への法に定められた措置であり、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 老人福祉法の規定によるため、行政が行なうべき業務である。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

養護老人ホーム入所の相談が増えている。精神的疾患の方や同居家族の問題 (介護力低下・経済面) 等による相談が増加している。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						